

(3) 日就学校創設 128

(4) 西塩田小学校の開校 133

(5) 手塚夜学の開設 141

(6) 明治における土地の測量 143

二 大正時代 149

(1) ランプから電灯へ (2) 着物から洋服へ 149

三 昭和時代 151

(1) 太平洋戦争(大東亜戦争)と手塚 151

(2) 公民館新築移転 163

(3) 沢山池(澤山瀦水池)の築造 170

(4) 農地改革 174

(5) 農業基盤の整備 176

(6) 川水から井戸・水道へ 180

(7) 宝蔵庫竣工 181

(8) 減反作付け調整 184

(9) 宝蔵庫簿冊整理 184

(10) 産業廃棄物の野焼き事件と対策 194

(11) 時代に即応した自治会体制づくり 196

(12) 各種団体の設置 199

 青少年健全育成会 199

 河川愛護会 200

 手塚福祉協議会 201

(13) 雨乞い地蔵堂建立 202

四 平成時代 206

(1) 榛名山古墳調査 206

(2) 近代化に向けて 209

 自治会文書処理規程の策定 209

(3) 市議会議員の送り出し 214

(4) 平成ニュータウンの誕生 218

(5) 小学校通学区変更と塩田西小学校新設 219

(6) 田園整備事業によるコア施設「総合案内所」建設 220

(7) 舌喰池ワークショップ 224

(8) 手塚の秘境「鞍が淵」世に出る 226

(9) 待ちに待った「下水道」 229

(10) 手塚農水保全会の立ち上げと活動 232

(11) 連退治対策実行委員会の歩み 235

第十二節 村を救った大事業 238

一 養殖事業 238

二 精米事業 241

第二章 村のむかしを偲ぶ

第一節 農村手塚 247

第二節 電化時代 259

第三節 交通 260

第四節 教育 268

第五節 公共建物 272

第六節 手塚の行事など 279

一 どうろくじん(道祖神) 279